

令和7年11月12日

宮津市が進めるコミュニケーション教育

～吉津小・府中小、日置小の3小学校合同のコミュニケーション授業～

宮津市では、これからの多文化共生時代を生きる子どもたちが、多様な価値観をもつ人々と共に思考し、協力・協働しながら課題を解決していく力の基礎となるコミュニケーション能力を培うとともに非認知能力の育成・向上を図ることを目指しています。

普段の生活の中では、人間関係が固定化してしまい、それが原因で自己を表現することに抵抗を持つ子どもも少なくありません。

その手法として、世界的にも活躍されている平田オリザ氏が実践する「演劇的手法」を用いたコミュニケーション授業を取り入れ、この3年間は宮津小学校、宮津中学校をモデル校として取組を進めています。

なお、本年度からは、吉津小学校、府中小学校、日置小学校の3小学校の1年生と2年生が一同に集まり、1学期には平田オリザ氏が率いる劇団「青年団」による演劇鑑賞の後、違う学校の児童同士でコミュニケーションゲームなどを行いました。今回もワークショップを通して体や声、言葉を使った演劇的な表現活動を通して自分の考えや気持ちを表出したり違う学校の友だちと相談したりしてコミュニケーション能力を培うとともに、自己表現力の向上を図ります。

日 時

・令和7年11月17日(月) 9:40～12:20

場 所

・府中の郷 2階ホール（宮津市中野）

内 容

- ・1年生ワークショップ（2校時 9:40～10:25）
- ・2年生ワークショップ（3校時、4校時 10:45～12:20）

【担当者のコメント】

イメージには、共有しやすいもの、しにくいものがあり、児童が普段何気なく使う言葉にも、それぞれどんなつもりで使っているかイメージの共有やズレがあるのではないかと感じています。

今回のワークショップを通じて、他者と自身の考えや意見を擦り合わせ、イメージを共有しながら、児童たちの表現力、対話力の向上につなげていきたいと考えています。